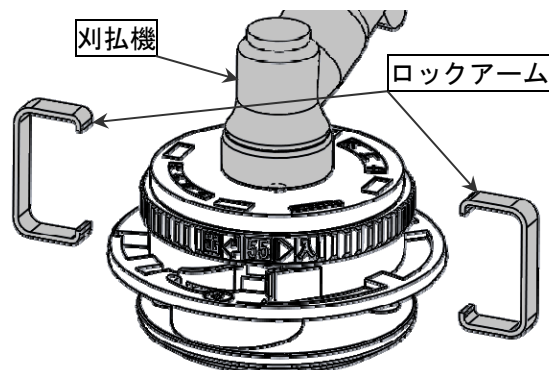
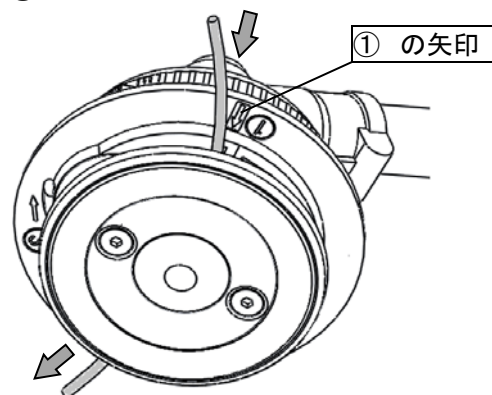


4. コードの収納方法

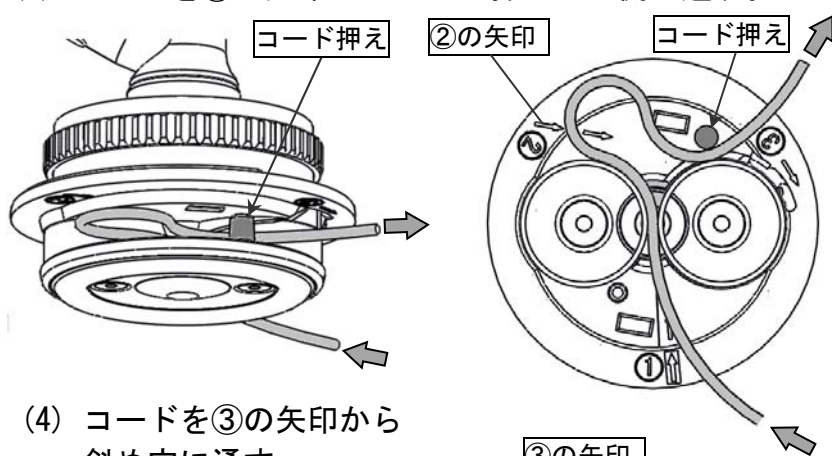
- (1) 本体を刈払機に取り付け、ロックアームを外す。
取り付け前にコードが本体に収納されている場合は、一旦コードを抜いてから刈払機に取り付ける。



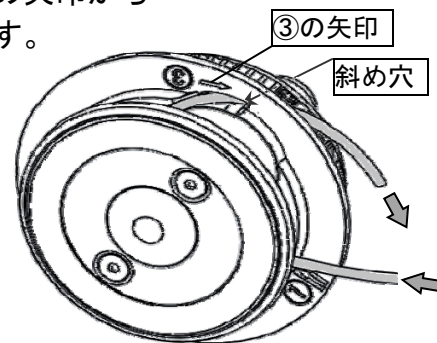
- (2) コードを①の矢印からアイレットの中心に通す。



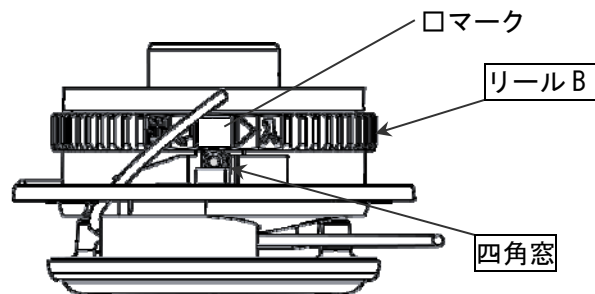
- (3) コードを②の矢印からコード押えの内側に通す。



- (4) コードを③の矢印から斜め穴に通す。



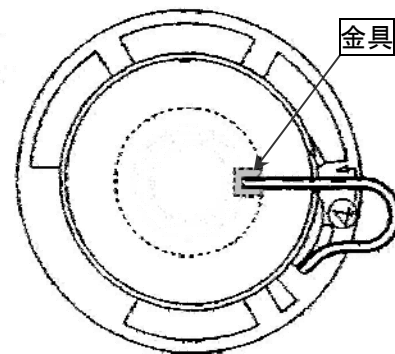
- (5) リール B を回して、リール B の口マークと④付近の四角窓を合わせる。



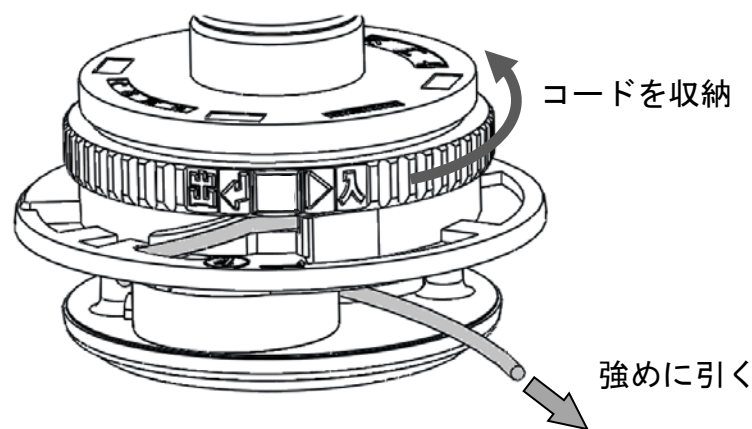
- (6) コードを④の矢印から四角窓の奥にある金具の穴に差込む。

注意

コードの先端が変形している場合差し込めないことがあるので、その場合は鋭利な刃物で先端を切り落とす。手順通りにコードを収納しなかった場合は、溶着や元切れの原因となる。



- (7) リール B を▷入の方向へカチカチと 4 回まわしてコードを少し収納し、コードを強めに引く。その後はリール B を 2 回転させるごとにコードを強めに引く。



注意

コードを引かずにとんどん巻き込むと、中でコードが緩んで絡まる事がある。それにより、コードが引き出せなくなったり、溶着や元切れの原因になったりする事がある。コードを緩ませないように巻き取ることが、コード繰り出しをスムーズに行い草刈り中のトラブルを防ぐ事になる。

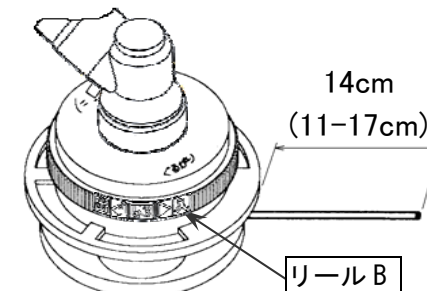
5. コード長さの調整

1. 収納

リールを▷入の方向にカチカチと回し、コード長さが 14cm になるまで巻き込む。(11cm から 17cm の間で使用可能)

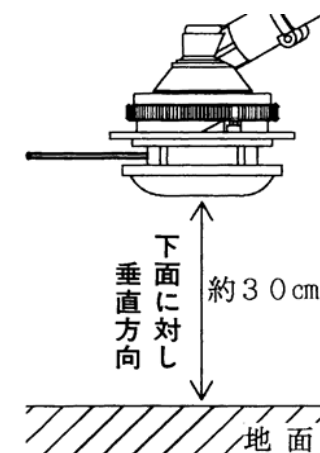
2. 手動引き出し

リール B を軽く下に押しながら 出◁の方向にカチッと 1 回 (1/8 回転) だけ回しコードを強く引っ張る。(2-3cm 出る)



3. 叩き出し

本体の回転を停止させたうえで、本体を約 30cm の高さから草或いは土の上に垂直に落下させる。



注意

- リール B を連続して回すと中でコードが絡まるので、一回まわすごとにコードを引っ張る事。
- 本体使用中に強い衝撃を与えたり、リール B が草に絡まったりすると、コードが勝手に引き出されてしまう事がある。そうなった場合は手動でコードを収納する事。

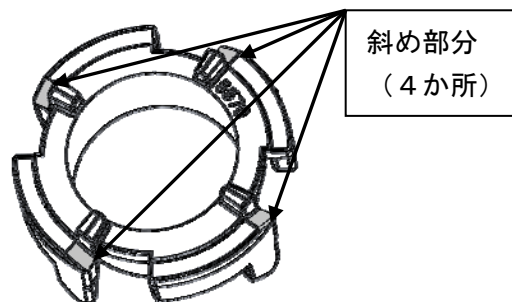
製造者 株式会社ナゴシ

〒938-0162 富山県下新川郡朝日町山崎 3889

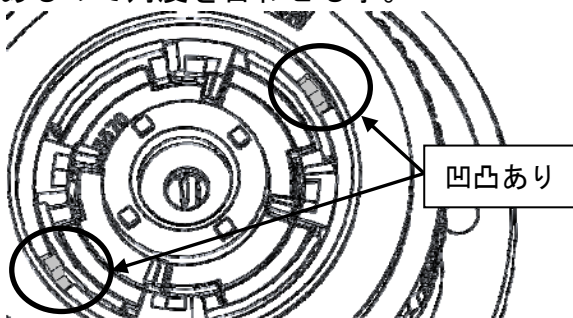
TEL 0765-84-8551 / FAX 0765-84-8033

6. 分解・組立・メンテナンス

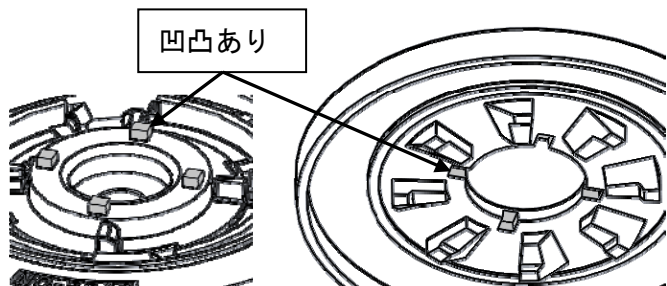
1. アイレットは、使用10時間毎に金属部分を左右逆に分解・組み直す事。アイレットの磨耗が左右均等になり、振動が出にくくなる。
2. 使用20時間毎に全部品を分解の上、圧縮エアなどを利用して内部の異物を除去する事。水の使用は不可。動作不良のもととなる。
3. スライダーの斜め部分にグリス（稠度NO.2）を薄く塗布したうえで組み付ける事。



4. リール B は、スライダーを本体に指で押し当ててスプリングが縮んだ状態にしながら取付ける。リール B に凹形状、リール A に凸形状があるので角度を合わせる事。

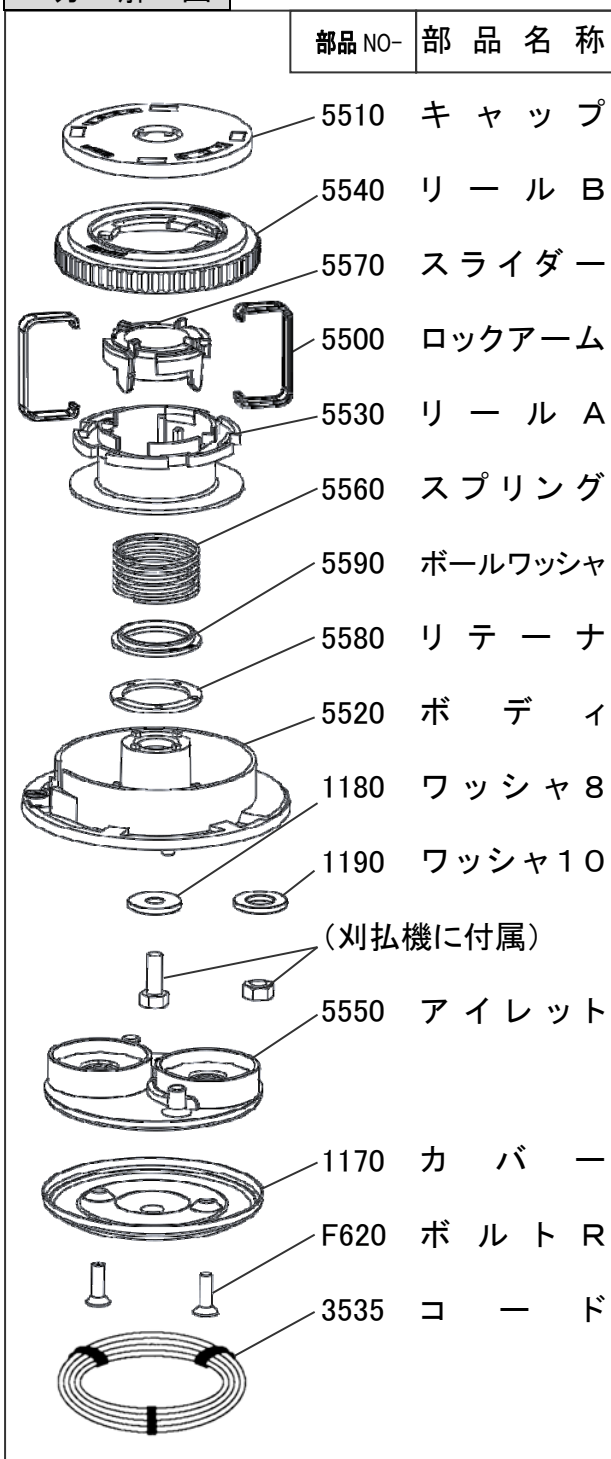


5. キャップは、リール B を指で下に押さえながら組付ける。その際、キャップの凹形状とボディの凸形状を合わせたうえで組付ける。組付け後にロックアームをかける。



6. 組立・分解などについては動画での説明あり。当社ホームページ(www.nagoshi.jp)あるいはYouTube「アカウント名：(株)ナゴシ」を参照の事。

7. 分解図



1. 安全に関する注意事項

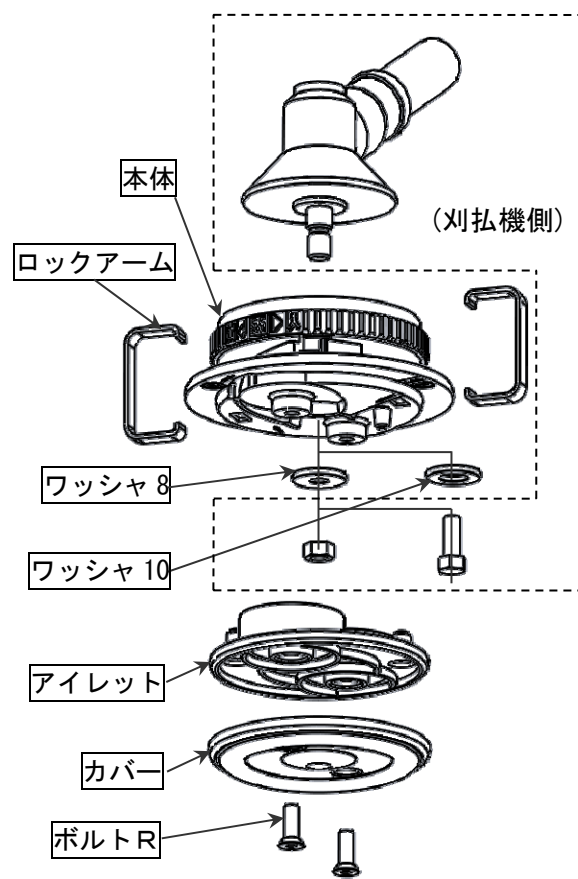
1. 人体防護のため、防塵面、保護メガネ、安全な作業服、長靴、手袋等を着用の上で使用の事。
2. 作業時は半径 20m 以内に他の人を近づけない事。
3. 作業時は土砂・小石等が最大半径 20m 飛散する。問題のある場所で使用しない事。
4. 本装置は人体より 1m 以上離して使用する事。
5. 本装置に接近及び接触する場合は、事前に装置を完全に停止する事。
6. 取扱説明書の内容を十分に理解してから使用する事。

2. 使用上の注意事項

1. 必ずぐるがり純正コードを使用する事。
2. コードは必ず本体取り付け後に挿入する事。本体を刈払機から取り外した場合、中でコードが緩んでしまう。そのまま再度取り付けると繰り出し不良の原因となるため、本体取り外し後は必ずコードを抜く事。
3. 水洗いしない事。作動不良の原因となる。
4. 雨天時、草や土が濡れている時など、本体内部が濡れる可能性のある状況では使用しない事。動作不良の原因となる。

3. 刈払機への取付方法

1. お客様が用意するもの
トルクレンチ、4mm ヘキサゴンソケット
刈払機側ボルト（ナット）に合うソケット
2. ボルト R を緩めカバー・アイレットを外す。
3. 本体にワッシャ 8 を挟み、刈払機付属の左ボルト又は左ナットにより締付トルク **9N・m** で締め付ける。（ネジサイズ M10 の場合、ワッシャ 10 を使用）
4. アイレットとカバーを取り付け、ボルト R 2 本を締付トルク **5N・m** で締め付ける。
5. ロックアームを取り外す。（分解の際に再使用するので保管する事）
6. コードを収納する。



注意 1 樹脂を使用しているため、強すぎる力で締めると本体に亀裂が入り、草刈り作業中に本体が吹っ飛び怪我をする恐れがある。

注意 2 必ず純正ワッシャを使用の事。別型式のぐるがり用ワッシャの使用も不可。（外径・厚みが合わず、樹脂が破損する）